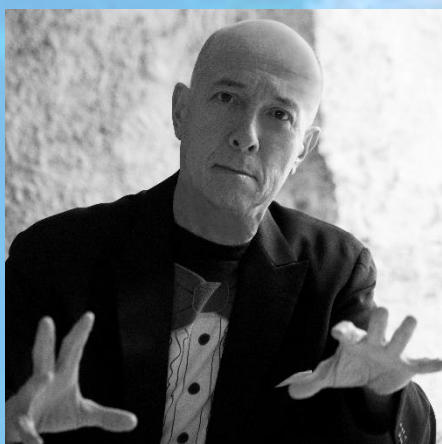


クリスティアンの来日が叶わないことは非常に残念ではありますが、この度、井上道義さんが本公演の指揮を引き受けて下さったことに心より感謝し、また、これ以上ない幸運も感じています。それは、井上さんが国内外で活躍するトップ・クラスの指揮者であるだけでなく、かつて新日本フィルの音楽監督を務め、また、その後も絶えず同楽団と数々の名演を生みだされてきた方だからです。今回のプログラムとの関連では、“マーラー・ツィクルス”もそのひとつです。

本公演は“忘れない 東日本大震災から10年”と銘打っておりますが、震災から数日後に、当時新日本フィルに在籍していた私の携帯に井上さんから着信があり、「この様な時に音楽をやっている良いのか・・・」という苦悩を吐露されていたことを思い出します。井上さんもこの公演に込められた思いを汲み取ってくださると確信しています。実はコロナ禍の中で昨年、逆に私から井上さんに電話し、井上さんがこの状況をどう感じられておられるか尋ねたことがありました。何か不思議な力で色々なことがシンクロしている様に感じています。

経験上ですが、“名演”というのはこの様な時に生まれるものです。ご来場の皆様にとご体感頂けると感じております。

東海市芸術劇場館長兼芸術総監督 安江正也



©高木ゆり子

井上 道義 (指揮) Michiyoshi Inoue

ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2017年大阪国際フェスティバル「バーンスタイン：ミサ」を、2019年オペラ「ドン・ジョヴァンニ（森山開次演出）」を、2020年オペラ「フィガロの結婚（野田秀樹演出）」を、いずれも総監督として率い既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。2016年「渡邊暁雄基金特別賞」、「東燃ゼネラル音楽賞」、2018年「大阪文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年「有馬賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。

崔文洙 (ソロコンサートマスター/ヴァイオリン) Munsu Choi

東京生まれ。桐朋学園大学ディプロマコースを経て1988年モスクワ音楽院でワレリー・クリモフ、セルゲイ・ギルシエンコの両氏に師事。1997年小澤征爾に認められ新日本フィル・コンサートマスターに就任。2000年同楽団のソロ・コンサートマスター。独自のリサイタルで各方面から注目を集める。一方、ソリストとしても小澤征爾、クリスティアン・アルミンク、ダニエル・ハーディング、小泉和裕、レオン・フライシャー、故ゲルハルト・ボッセ氏等と共演。2016年第17回ホテル・オークラ音楽賞 受賞。



©新日本フィルハーモニー交響楽団



©三浦興一

新日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

1972年、指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。97年、墨田区に移転。すみだトリフォニーホールを活動の本拠地とし、日常の練習と公演を行う日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も特徴的。99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。受賞歴に三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞等。2016年9月より指揮者・上岡敏之が音楽監督を務めている。この他、04年に音楽家・久石譲と立ち上げた“新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ”で幅広い人気を集め、映画『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』では管弦楽を担当。

東海市子どものオーケストラ(開演前・プレコンサート)

東海市芸術劇場が開館した2015年度より活動を行う、小学生から高校生までのオーケストラ。名古屋フィルハーモニー交響楽団の楽員を講師に迎え、楽器演奏の基礎からオーケストラ形態での合奏まで幅広く学ぶとともに、劇場主催公演ではソリストや歌手・合唱団と共演するなど、活動の幅を広げています。

◆ 出演者等変更のお知らせ ◆

新型コロナウイルス感染症対策の影響から、外国人の上陸拒否措置の延長に伴い、出演予定をしていた指揮者クリスティアン・アルミンクは出演出来なくなりましたので指揮者を井上道義に変更して開催致します。また、これに伴い、プログラムの一部を変更させていただきます。

新日本フィルの音楽監督も務めた井上氏と新日本フィルのコンビネーションをどうぞお楽しみください。